

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-078923

(43)Date of publication of application : 12.03.1992

(51)Int.Cl. G06F 3/12  
G06F 15/20

(21)Application number : 02-192775 (71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 20.07.1990 (72)Inventor : NAKAZAWA YOKO

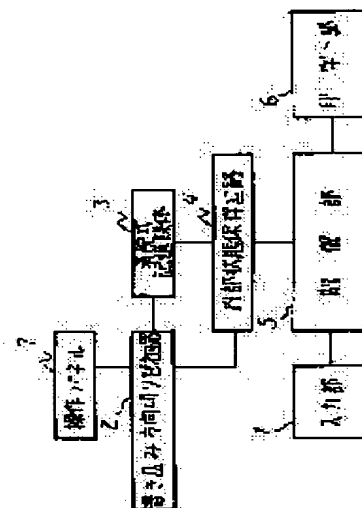
## (54) DOCUMENT OUTPUT DEVICE

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To constitute this device so that each user can update easily printing environment information by only executing once the setting of the printing environment conforming to the respective uses by copying the printing environment information preserved in the inside of the document output device to an attachable/detachable recording medium.

**CONSTITUTION:** An input part 1 receives a command for setting the printing environment or printing data sent from a host computer. An internal state preserving circuit 4 copies printing environment information received through the input part 1 to an attachable/detachable type storage medium 3, and preserves it so that this information can be updated successively. A

write direction switching circuit 2 decides whether read-out is executed or write is executed to the attachable/detachable type storage medium 3 in accordance with the instruction of an operating panel 7. In such a manner, it is possible to have plural printing environment information simultaneously by this document output device, and one set of device can be shared easily by plural users. In such a manner, by using the printing environment information conforming to user's application, a desired output result can be obtained.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of

rejection or application converted  
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-78923

⑮ Int.Cl.<sup>5</sup>

G 06 F 3/12  
15/20

識別記号

5 6 6 V  
A

庁内整理番号

8323-5B  
6914-5L

⑭ 公開 平成4年(1992)3月12日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑬ 発明の名称 文書出力装置

⑰ 特 願 平2-192775

⑱ 出 願 平2(1990)7月20日

⑲ 発 明 者 中 沢 洋 子 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑳ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

文書出力装置

特 許 請 求 の 範 囲

ホストコンピュータから印字環境あるいは印字データを設定する入力手段と、前記入力手段により設定された印字環境情報を保存する記憶手段と、前記記憶手段により保存された印字環境情報を更新する更新手段と、前記印字環境情報を読み書きする着脱式記憶媒体と、前記着脱式記憶媒体に対し読み出しを行なうかあるいは書き込みを行なうかを判断する判断手段と、前記印字データを印字する印字手段とを具備することを特徴とする文書出力装置。

発 明 の 詳 細 な 説 明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、文書出力時の印字環境を設定するためのコマンド体系を持つ文 出力装置に関し、特

に設定された印字環境情報を着脱式記憶媒体に記憶することにより自由に印字環境情報の更新を行なうように改良した文書出力装置に関する。

〔従来の技術〕

従来の文書出力装置は、文書出力時の印字環境の設定をホストコンピュータ、ディップスイッチあるいはメモリスイッチから行なっていたため、印字環境の変更を印字環境を構成する要素を個別に更新することにより実現していた。また、一度設定された印字環境は印字環境情報として装置内部で保存していた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の文書出力装置は、装置内部に印字環境情報を保存していたため、一つの文書出力装置を複数のユーザが共有するとき、ユーザが変わる度に各ユーザの要素にあった印字環境を一つ一つ再設定するのに手間がかかるという欠点があった。また、文書出力装置は年々高度な機能をサポートする傾向にあり、これに伴い印字環境の設定も複雑になってきた。しかしながら、印字環境情

報は文 出力装置の中で管理されているため、ユーザは現在の印字環境情報を文 出力することではしか確認できず、ユーザが思いどおりの出力結果を得ることができなかったときに、原因の解析が容易でないという欠点もあった。

#### 〔課題を解決するための手段〕

本発明の文書出力装置は、ホストコンピュータから印字環境あるいは印字データを設定する入力手段と、前記入力手段により設定された印字環境情報を保存する記憶手段と、前記記憶手段により保存された印字環境情報を更新する更新手段と、前記印字環境情報を読み書きする着脱式記憶媒体と、前記着脱式記憶媒体に対し読み出しを行なうかあるいは書き込みを行なうかを判断する判断手段と、前記印字データを印字する印字手段とを具備することを特徴とする。

#### 〔実施例〕

次に本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。入力部1は、ホストコンピュータから送られてく

よび内部状態保存回路4にはそれぞれ初期値がセットされる。次に、この文書出力装置はステップ202でオンラインかどうか判断し、オンライン状態ならばステップ203で入力部1から順次データを受信する。ステップ204で制御部5が受信したデータが印字環境を設定するコマンドであることを判断すると、ステップ205で、内部状態保存回路4はこの文書出力装置内部の印字環境情報における変更部分を、新しく設定された情報で更新する。また、書き込み方向切り替え回路2は、ステップ202でこの文書出力装置がオフラインでかつステップ208で操作パネル7から読み出しモードが設定されていることを判断すると、内部状態保存回路4に読み出し信号を送る。ステップ209で内部状態保存回路4はこの信号を受けると、着脱式記憶媒体3に記録されている印字環境情報を読み出し、装置内部の印字環境情報を読み出された印字環境情報で一度に更新する。すると、この文書出力装置の印字環境情報は、ホストコンピュータからコマンドを再設定すること

る印字環境を設定するためのコマンドあるいは印字データを受け取る部分である。書き込み方向切り替え回路2は、操作パネル7の指示に従い着脱式記憶媒体3に対し、読み出しを行なうかあるいは書き込みを行なうかを判断するための回路である。着脱式記憶媒体3は、読み書き可能な記憶媒体であり、この実施例では磁気カードを用いる。内部状態保存回路4は入力部1を通して受け取った印字環境情報を保存しており、この情報は逐次更新することができる。印字部8は、従来の各種文書出力装置と同様の機構を持ち、同様の印字動作を行なう部分である。制御部5は、前記各回路などのコントロールを行ない、着脱式記憶媒体3への読み書き、印字が正常に行なわれるよう制御する部分である。操作パネル7は、ユーザが印字環境情報を書き込む先を指定するためのスイッチを備えている。

次に、第2図のフローチャートを用いてこの実施例の動作を説明する。

まず、ステップ201で、着脱式記憶媒体3お

なく、一度にユーザの用途にあった初期状態に戻る。更に、書き込み方向切り替え回路2は、この文書出力装置がステップ202でオフラインでかつステップ208で読み出しモードでないことを判断し、更にステップ210で操作パネル7から書き込みモードが指定されたと判断された場合、内部状態保存回路4に書き込み信号を送る。内部状態保存回路4はこの信号を受けると、ステップ211で装置内部の印字環境情報を用いて着脱式記憶媒体3の印字環境情報を一度に更新する。このように、この文書出力装置を用いることにより同時に複数の印字環境情報を持つことができ、一台の装置を複数のユーザで共有することが容易になる。

#### 〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、本来この文書出力装置の内部に保存されていた印字環境情報を着脱可能な記録媒体へコピーすることにより、記憶媒体の数だけ印字環境を構成する要素の組合せが可能となり、各ユーザはそれぞれの用途にあった

印字環境の設定を一度行なうだけで、いつでも手軽に印字環境情報の更新ができるという効果を奏する。

更に、ユーザが思いどおりの出力結果を得ることができなかつたときも、出力時点の印字環境情報を前記記憶媒体にコピーし、その結果を解析することにより、思いどおりの出力結果を得ることができない原因を判断する助けになるという効果も本発明は奏する。

#### 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図、第2図は第1図の動作を示すフローチャートである。

1…入力部、2…書き込み方向切り替え回路、3…着脱式記憶媒体、4…内部状態保存回路、5…制御部、6…印字部、7…操作パネル。

代理人 弁理士 内原 晋

